Cisco適応型セキュリティアプライアンスおよびFirepower Threat Defenseソフトウェアのリモートアクセス VPNにおけるサービス妨害の脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-asa-vpn-cZf8gT
初公開日 : 2024-10-23 16:00
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : 8.6
回避策 : No workarounds available
Cisco バグ ID : CSCwk53369

CVE-2024-20495

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco適応型セキュリティアプライアンス(ASA)ソフトウェアおよびCisco Firepower Threat Defense(FTD)ソフトウェアのリモートアクセスVPN機能の脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がデバイスのリロードを予期せず引き起こし、その結果、該当デバイスでサービス妨害(DoS)状態が発生する可能性があります。

この脆弱性は、TLSセッション確立後のクライアントキーデータの不適切な検証に起因します。攻撃者は、巧妙に細工されたキー値をセキュアTLSセッションを介して該当システムに送信することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。不正利用に成功すると、攻撃者は該当デバイスのリロードを引き起こし、その結果 DoS 状態が発生する可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリは、次のリンクより確認できます。
https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-asa-vpn-cZf8gT

このアドバイザリは、2024年10月に公開されたCisco ASA、FMC、およびFTDソフトウェアセキュリティアドバイザリバンドルの一部です。これらのアドバイザリとリンクの一覧については、『シスコイベントレスポンス：Cisco ASA、FMC、およびFTDソフトウェアに関するセキュリティアドバイザリ公開半年刊2024年10月』を参照してください。

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、リモートアクセスVPN機能が有効になっているCisco ASAソフトウェアおよびFTDソフトウェアに影響を与えます。

脆弱性が存在する Cisco ソフトウェアリリースについては、このアドバイザリの「修正済みソフトウェア」セクションを参照してください。

Cisco ASA ソフトウェア設定の確認

Cisco ASAソフトウェアで脆弱な機能が有効になっているかどうかを確認するには、show running-config CLIコマンドを使用します。次の表の左列は、脆弱性のある Cisco ASA 機能を示します。右側の列に示す各機能の基本設定は、show running-config CLI コマンドを実行すると表示されます。脆弱性が存在するリリースを実行していて、これらの機能のいずれかが有効になっているデバイスは、この脆弱性の影響を受けます。

Cisco ASA 機能	脆弱性の存在するコンフィギュレーション
AnyConnect IKEv2 Remote Access（クライアント サービス有効時）	crypto ikev2 enable [...] client-services port
AnyConnect SSL VPN	webvpn enable
クライアントレス SSL VPN	webvpn enable

Cisco FTD ソフトウェア設定の確認

Cisco FTDソフトウェアで脆弱な機能が有効になっているかどうかを確認するには、show running-config CLIコマンドを使用します。次の表の左列は、脆弱性のある Cisco FTD 機能を示します。右側の列に示す各機能の基本設定は、show running-config CLI コマンドを実行すると表示されます。脆弱性が存在するリリースを実行していて、これらの機能のいずれかが有効になっているデバイスは、この脆弱性の影響を受けます。

Cisco FTD 機能	脆弱性の存在するコンフィギュレーション
AnyConnect IKEv2 Remote Access（クライアントサービスあり）[1]	crypto ikev2 enable [...] client-services port
AnyConnect SSL VPN[1]	webvpn enable

1. Cisco Secure Firewall Management Center(FMC)ソフトウェア（旧Firepower Management Center Software）のリモートアクセスVPN機能を有効にするには、 Devices > VPN > Remote

Accessの順に選択します。Cisco Firepower Device Manager(FDM)でリモートアクセスVPN機能を有効にするには、 Remote Access VPNを選択します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。

シスコは、この脆弱性が Cisco FMC ソフトウェアには影響を与えないことを確認しました。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェアアップデートをリリースしています。通常のソフトウェアアップデートが含まれるサービス契約をお持ちのお客様は、通常のアップデートチャネルからセキュリティ修正を取得する必要があります。

お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェアアップグレードをインストール、ダウンロード、アクセスまたはその他の方法で使用した場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェアライセンスの条項に従うことに同意したことになります。
https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限ります。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティ ソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

Cisco.com の シスコサポート & ダウンロードページには、ライセンスとダウンロードに関する情報が記載されています。このページには、[マイデバイス（My Devices）] ツールを使用するお客様のカスタマーデバイスサポート範囲も表示できます。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレード ソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に

確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center（TAC）もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC（https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html）に連絡してアップグレードを入手してください。

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

Cisco ASA、FMC、および FTD ソフトウェア

お客様が Cisco ASA、FMC、および FTD ソフトウェアの脆弱性に対するリスクを判断できるように、シスコは Cisco Software Checker を提供しています。このツールを使うことで、特定のソフトウェアリリースに関連するすべてのシスコ セキュリティ アドバイザリを検索でき、それぞれのアドバイザリで言及された脆弱性を修正した最初のリリース（「First Fixed」）を特定できます。また、該当する場合には、Software Checker により判別されたすべてのアドバイザリに記載のすべての脆弱性が修正された最初のリリース（「Combined First Fixed」）を特定できます。

このツールを使用するには、「Cisco Software Checker」ページの手順に従います。または、次のフォームを使用して、特定のソフトウェアリリースに影響を及ぼす脆弱性を検索します。このフォームを使用するには、次の手順に従います。

1. ツールで検索するアドバイザリを選択します。すべてのアドバイザリ、セキュリティ影響評価（SIR）が「重大」または「高」のアドバイザリのみ、またはこのアドバイザリのみを選択します。
2. 該当するソフトウェアを選択します。
3. 該当するプラットフォームを選択します。
4. リリース番号を入力します。たとえば、Cisco ASA ソフトウェアの場合は 9.16.2.11、Cisco FTD ソフトウェアの場合は 6.6.7 と入力します。
5. [チェック（Check）] をクリックします。

2		Critical,High,Medium
このアドバイザのみ	Cisco ASA ソフトウェア	
あらゆるプラットフォーム		
Enter release number	Check	

注：Cisco ASAソフトウェアを実行しているCisco 3000シリーズ産業用セキュリティアプライアンス(ISA)については、Cisco ASAソフトウェアリリース9.16.4.67のリリースは延期されており、

リリース9.16.4.70に置き換えられています。

Cisco FTDデバイスのアップグレード手順については、該当する『Cisco FMC upgrade guide』を参照してください。

関連情報

最適な Cisco ASA、FMC、または FTD ソフトウェアリリースの決定方法については、次の推奨リリースに関するドキュメントを参照してください。セキュリティ アドバイザリでより新しいリリースが推奨されている場合は、そのアドバイザリのガイダンスに従うことをお勧めします。

Cisco ASA の互換性
Cisco Secure Firewall ASA アップグレードガイド
Cisco Secure Firewall Threat Defense 互換性ガイド

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team（PSIRT）は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

出典

この脆弱性は、Cisco Advanced Security Initiatives Group(ASIG)のJason Crowderによる社内セキュリティテストで発見されました。

URL

https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-asa-vpn-cZf8gT

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2024年10月23日

利用規約

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意訳を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。 このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。